

6月議会定例会

一般質問

市政に対する質問・提言

6月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。

自治基本条例について
まちづくり関係団体について
公用車の利用について
火葬の申請について



塚本しゅんいち

問 自治基本条例を制定しては、どうか。

答 自治基本条例はもとより自治基本条例制定後の自主立法の制定に関して担当各課だけでなく内部的には、仮称であるが、政策法務審議会といった研究会をもち、その条例が土岐市の政策にどのように影響するか方向性等を審議する機関が必要であるので、今後そうした機関を設け、検討していく。

問 まちづくりについて継続事業への支援（補助金）対象の考えは

答 市としては、今後ともできる限りの支援をしていきたいと考えている。

各まちづくり委員会と連携する中で、バックアップ体制等を検討していく。

問 公用車の利用について

答 現在、乗用車五十三台、貨物車百三台、二輪車一台、その他、合計二百六十五台の公用車がある。町内会やボランティア団体に無料貸し出しすることに於いて、現時点では考えていない。

問 火葬の申請について

答 電話またはファクスでの火葬日時の予約は、確実性などトラブルを生む要因が多々考えられるので、現行制度の継続を考えている。



公用車駐車場

「憲法」をくらしに生かす
市政のあり方について
・日本芸術文化振興会の独立法人化
・「国民保護法」とは名ばかり
産廃の不適正処理の対応



おぜきさち子

問 「憲法」は古くなったと「改憲」論議がされているが、市政に携わって憲法をくらしに生かす政治とはどういうものだと考えているか。

答 生活に関する相談は、平成十五年度一 四件、うち生活保護認定は二六件。今年四月一日現在で生活保護件数は、一一四世帯・一三九人。

平成十一年度より勤務評定を実施、公表は全く考えていない。従来、退職勧奨は個別に対応してきたが、勤続二五年以上で五十歳以上の職員全員に対し、文書で退職勧奨を行った。平成十四年度から実施されている新学習指導要領で、国旗を掲揚すると共に、国歌を斉唱するよう指導するものと規定。教員は地方公務員法により、関係法令や上司

入学式



の職務命令に従って教育指導を行わなくてはならない。児童・生徒の場合は、あくまで指導上の課題ととらえ、指導を進めることが必要。常設型の住民投票条例は、議会制民主主義の根幹に関わる問題であり、議員定数を二、三割は削減するぐらいの覚悟が必要。「改憲」論議については、注意深く見守りたい。本市の行政運営について、現在の日本国憲法に従い、肅々と進めていくべきことは、当然のこと。

大胆な行政改革の断行を！
土岐市が生きていく為には、
市民も議会も行政も痛みを分かちあう必要がある



◎合併できなかつた土岐市が生きていく為に必要なこと、それは痛みを伴う大胆な行政改革の断行、これ以外にない。この痛みは市民の皆さんも、議員も、行政側も互いに分かち合わねばならない。

◎合併できなかつた土岐市の将来を思うのなら、今を生きる私たちが痛みを受けねばならない。具体的には事務事業の民営化や民間委託、職員や議員定数の削減、人件費のカットなどなど。従来の概念にとらわれず、あらゆる面に思い切った改革を実現されたい。身を削って市の総力を結集して「土岐市の自治体改革」を実現されるよう強く申し上げたい。

◎（市長）緊急の課題である行政改革は、短期的に集中的に検討・実施をすること、

目標値や時期をできる限り具体的に示すこと、計画策定に当たっては「土岐市行政改革懇談会」に諮り決定することなどを基本方針に、人件費の抑制、一般経費の削減、使用料手数料の見直し、補助金の見直し、職員定数・行政組織の見直し、事務事業の見直しなど広範囲にわたる内容について、現在、改革案を内部協議中である。財政状況が非常に厳しいことは承知しており、できる改革から早急に実施していく考えである。

環境保全について
全国紙に掲載された投書
「里山の自然が残土で危うく」との市民の叫びにどう
応えるのか。



◎市北部で進行する民間業者による残土処理は適法か？土砂流出、水質汚濁などへの適切な指導はされているか？また実伐採面積が開発行為の基準値の1、000平米を超えているとみられ、これは規

制逃れの違法では？の指摘もあるがどうか？

◎（建設部長）昨年7月、定林寺川が赤く濁っているとの地元からの連絡により、土木課他関係各課が連携して調査に当たった。現場は土地所有者から出されている森林法に基づき伐採届によって900平米の埋め立てがなされているもので、手続上問題はないが、雨水により法面が崩壊し、下流に影響があると思われる。そのため防災措置上の計画図面の提出と復旧工事の早期施工をするよう依頼した。

◎（経済環境部長）水質検査の結果、特に自然環境に影響はないことがわかった。今後とも監視を続ける。また、伐採面積が申請を超えているのではないかとという指摘には変更届を出すように指導している。

◎環境保全の見地から先進自治体に習い「残土等による埋め立ての規制に関する条例」の制定が必要と思うがどうか？

◎（助役）法律との整合性を踏まえ検討させていただく。

◀ 定林寺地内



次世代育成支援行動計画
その後
地方分権に関する国の動向



◎行動計画策定のその後を聞く。

◎7月に策定委員を委嘱。3月までに4回委員会と内部検討会を開催予定。策定委員は、24名で構成し、極力女性の参加を考えている。計画

期間は五年間とし、その後見直す。男女共同参画プランの基本目標・重点目標・その他の計画や法令との整合性を図り、内容を充実させる予定。

◎骨太の方針2004及び麻生プランの見解を聞く。

◎廃止すべき補助・負担金等の選別・選択をどのように調整するかが課題で、地方の節度・見識が問われている。調整できない場合、国の地方を見る目が厳しくなると懸念している。

◎地方公共団体の行政改革の推進等行政体制の整備についての見解を聞く。

◎地方の自立性を高めること、道州制も国民的議論を期待することは、当然の課題だ。市長会でも道州制の問題・大都市問題・基礎的自治体の将来の在り方の三点で議論している。

◎個人情報保護に関する基本方針による条例の見直しは

◎個人情報漏洩に対する罰則規定に関する改正案作成に着手する予定。

土岐市男女共同参画プランについて



布施 素子

問 出来上がったプラン一項目、ダイジェスト版で、市民にお知らせしたらどうか。

答 広報「とき」に今年三月一日号の特集で、事業の必要性やプランの策定経過などお知らせした。現在は毎月一回広報「とき」で、男と女の生き生きコラムを掲載、一年間ぐらい続ける。土岐市のホームページ上でも公開しているし、図書館に男女共同参画に関するコーナーを設置し、資料提供に努めるとともに、本年度予算では手当てしないので、来年度予算を編成する際に検討してみる。

問 それぞれの計画のうち出来るもの、特に大切なものに数値目標を設け、五年で見直す際の参考にし、改めて十年までの見直しをすべきではないか。

答 数値目標を掲げることは大変有効ではあるが、具体的な数値を掲げることは容易でなく、またすぐ達成出来ないものも多く、毎年各担当課の進捗状況を確認し、五年を目途にその達成状況を集約、必要があればプランの修正等を考えている。数値目標を掲げられるものについては、その方向で考えて行きたい。当面は男女共同参画という考え方の啓発事業を柱と考えている。



土岐市男女共同参画プラン

市税等の前納報奨金の廃止、徴収率の目標設定の考えは、介護予防対策のためにパワーリハビリの導入の考えは、子育て支援の観点から父子家庭への支援充実の考えは。



高井由美子

問 前納報奨金は、税の不公平是正の立場から廃止すべき。

答 交付率の廃止、引き下げは、近隣の自治体の動向を踏まえ、今年度中に改定の方角で検討したい。徴収率の目標設定はしていない。

問 介護保険制度が発足して四年、介護認定者が増える中一人ひとりが健康で長生きするための介護予防対策として費用対効果の高いパワーリハビリや音楽療法の導入の考えは。

答 現在、一個人病院で実施している。身体的パワーの向上を目的とした介護予防、自立回復、介護軽減を目指す新しい運動プログラムであり、今後、多くの施設でとり入れられるとよい。年一回音楽療法講座を老人クラブ連合会へ委託開催しております。

音楽療法



問 父子家庭への医療費助成制度の改善と児童扶養手当の支給についての考えは。

答 父子家庭等医療費の助成は対象が児童のみで、償還の方法をとっている。

父子家庭等医療費については、市単独事業であり、他市町村との調整を図りながら調査・研究をしていきたい。扶養手当の支給については、ぜひ、国に対して、父子版児童扶養手当制度等の創設なども要望していきたい。

市民協働のまちづくり条例の制定を（提案）
濃南地域に農業関連の構造改革特区申請を（提案）



水野 敏雄

問 まちづくりは、市民、事業主の参画と協働が不可欠。その基本となる土岐市まちづくり条例の制定が望まれる。

答 分権時代にふさわしい特色ある地域づくりは、市民とのコラボレートが極めて大切。住民参加を重視したまちづくり条例の制定は必要と考える。市民参画で制定をしたい。

問 各地域でまちづくりが進む、どう考え対応をするのか。

答 その地域の皆さんが、より住みよい地域づくりを話し合い、英知を集める。住民参加の意識が高まってほしい。

市民主導のまちづくり活動には、立ち上げから一定の期間は行政がバックアップをする。その後は自主的、主体的に事業が展開されるべきと考える。

問 濃南地域の遊休農地の現状

はどのようなか。

答 農業共済水稻細目書によると年々増加しており、平成十五年約二七万㎡となった。

問 深刻化する濃南地域の遊休農地の解消・活用対策は

答 ソバ、野菜やレンゲ、菜の花等の栽培作物の拡充、観光型、体験型を検討したい。

問 濃南地域を農業関連の構造改革特区に申請し、遊休地の活用、地域活性化を提言。

答 提案を始め、特区認定の事例を参考にし、地元と協議して検討したい。

市内に放置車二百台の対応は定林寺内の残土埋立について環境破壊防止立入り調査をDV被害者に市営住宅優先を美しが峰ベトナムに配慮を駄知小学校モデル校指定について



小栗 恒雄

問 私有地に放置された廃棄物と廃車二百台の環境への影響と撤去処理の対応について

答 県を交え撤去対策検討中も調査したが環境への影響は現状ではないと考えている。

問 定林寺の自然環境が破壊さ

れており、地元で土砂災害を危惧する声が上がっている。

答 森林伐採変更届等、指導要綱に基づき指導している。

問 環境破壊の恐れのある私有地に、市の環境保全条例に基づき、職員による積極的な環境破壊防止立入り調査を。

答 県と一緒にパトロール立入検査をしており、市単独での調査の予定はありません。

問 男女共同参画推進のためDV被害者に市営住宅優先入居を。

答 国交省より指導があり、DV被害者の優先入居は可能、他市での入居を考えている。

問 ペット埋葬時の取扱いは

答 安置台に線香等を設置、供養した後一時冷蔵庫に納め後で火葬する。

問 駄知小モデル校指定と小六女児同級生殺害事件を踏まえ学校の安全・安心について。

答 命の尊さ心の教育充実、インターネット操作の指導、刃物の取扱管理、危険箇所等の再点検、交通事故や不審者から守り、地域と連携し安全安心な学校づくりを推進する。

放置自動車



住民の交通安全対策について地域経済活性化について



日比野とみはる

問 市内の危険な道路や交差点ウオッチは出来ているか。

答 (経済環境部長) 把握はしており諸関係機関、公安委員会と連絡調整をしているが一覧できる様な地図は作成していない。

答 (建設部長) 石拾峠の横断歩道は歩行者案内板とかカラー舗装などで注意を促す様な対応策を要望していく。泉西郵便局前は歩行者安全での用地関係の努力を続ける。

問 地域経済活性化のため「小規模修繕契約希望者登録制度」と「住宅リフォーム補助金制度」の創設を求める。

答 (経済環境部長・総務部長) 地域経済状況はいぜん厳しいことが諸数値に表れている。提案の制度は事務改善委員会で審議をしたが、まずは入札参加資格審査の登録をしていただく指導をしている。手続きの簡易化も考慮する。「住宅リフォーム制度」は慎重な対応を考えており、本年度実施の木造住宅耐震補強工事補助金もはじめており「個人の一般住宅への補助」には是非を含む議論のあるところでもある。業者の方との懇談の場もこれまでも持って来たが、土岐市の業者の方に仕事をしたいとお願いしている。

答 (建設部長) 石拾峠の横断歩道は歩行者案内板とかカラー舗装などで注意を促す様な対応策を要望していく。泉西郵便局前は歩行者安全での用地関係の努力を続ける。

問 地域経済活性化のため「小規模修繕契約希望者登録制度」と「住宅リフォーム補助金制度」の創設を求める。

答 (経済環境部長・総務部長) 地域経済状況はいぜん厳しいことが諸数値に表れている。提案の制度は事務改善委員会で審議をしたが、まずは入札参加資格審査の登録をしていただく指導をしている。手続きの簡易化も考慮する。「住宅リフォーム制度」は慎重な対応を考えており、本年度実施の木造住宅耐震補強工事補助金もはじめており「個人の一般住宅への補助」には是非を含む議論のあるところでもある。業者の方との懇談の場もこれまでも持って来たが、土岐市の業者の方に仕事をしたいとお願いしている。

答 (建設部長) 石拾峠の横断歩道は歩行者案内板とかカラー舗装などで注意を促す様な対応策を要望していく。泉西郵便局前は歩行者安全での用地関係の努力を続ける。

問 地域経済活性化のため「小規模修繕契約希望者登録制度」と「住宅リフォーム補助金制度」の創設を求める。

答 (経済環境部長・総務部長) 地域経済状況はいぜん厳しいことが諸数値に表れている。提案の制度は事務改善委員会で審議をしたが、まずは入札参加資格審査の登録をしていただく指導をしている。手続きの簡易化も考慮する。「住宅リフォーム制度」は慎重な対応を考えており、本年度実施の木造住宅耐震補強工事補助金もはじめており「個人の一般住宅への補助」には是非を含む議論のあるところでもある。業者の方との懇談の場もこれまでも持って来たが、土岐市の業者の方に仕事をしたいとお願いしている。

答 (建設部長) 石拾峠の横断歩道は歩行者案内板とかカラー舗装などで注意を促す様な対応策を要望していく。泉西郵便局前は歩行者安全での用地関係の努力を続ける。

泉西郵便局前



一般質問の順序により、掲載いたしました。

なお、ここに掲載されている記事につきましては、決められたスペースに、質問及び答弁を、各議員が責任を持って書いており、それぞれが創意工夫をすまておいています。そのため、文体等を統一していませんので、ご了承ください。